

創刊号 (第 1 号)

2023 年
12月01日法人事業部 営業チーム1
入江 陽介


忘年会のあれこれ

＼ 本年も大変 /
お世話になりました！

忘年会や 新年会を 楽しく有意義 にするには

いつもお世話になっております。ダイヤル・サービスです。木枯らし1号も到来したこの時期、一層寒くなってきましたが、体調などに変化はございませんでしょうか。

今年も残すところあと1ヶ月ほど。そろそろ忘年会や新年会を企画している部署も多いのではないのでしょうか。普段の仕事を忘れて過ごす楽しい時間になればと思う反面、残念ながら、飲み会が苦手、つらいと思う人や、実施自体を疑問に感じる人も少なくはありません。ダイヤル・サービスのホットラインにも、この時期はこういった類の相談が多く寄せられます。中には、「隣の部署は実施するのに、うちの部署はやらないのは不平等」という相談もあるそうです。

よく、チームにはダイアログ(対話)が必要だといえます。職位に関係なくお互いの話をよく聞き「普段この人はこういうことを考えているのか」と相手を受け入れることが、組織の心理的安全性を高める一つの要因にもなっているそうです。

飲み会が敬遠されるものではなく、従業員が思う存分語り合える場として浸透すれば、仕事への良い影響も期待できるかもしれませんね。



職場の懇親会は業務のうちですか？

EAP・ハラスメントグループ
相談員
長谷川 一彦

「自分はお酒が飲めないので行きたくないのに、断ることができない。職場の懇親会は業務なのか？」「毎月懇親会費として一定額を払っている。飲み会や送別会の記念品などに使われているようだが、誰が管理しているのかもわからず、決算の報告もない。この状況を会社は放置していいのか？」これらの相談がこのシーズンになると必ず出てきます。ここ数年はコロナの影響もあり飲み会も影を潜めていましたが、今年あたりから復活している職場も多いのではないのでしょうか。

「アルハラ(アルコールハラスメント)」という言葉が出てきている一方で、そもそも若い世代にとっては「飲みコミュニケーション」という文化はなじみがなく、「酒を飲んで腹を割って話をする」という考え方は希薄です。業務後とはいえ職場の仲間と過ごす時間ですから、会社として従業員同士での飲食、懇親会等について、なんらかの指標を出しておくのが良いかと思えます。目安があることで、実施する側も参加する側も安心できるのではないのでしょうか。



OSHIRASE

お知らせ &
セミナー

SEMINAR

クライアントアンケート完成のお知らせ

例年発行している「クライアントアンケート2023」が完成いたしました。営業担当者より、順次クライアントご担当の皆様へお渡ししております。

本年も貴重なご意見をたくさんいただき、改めて回答にご協力いただき本当にありがとうございました。今後もクライアントの皆様によりご満足いただけるよう、ダイヤル・サービス法人事業部一同、より一層精進して参ります。



動画研修のご案内

ダイヤル・サービスではどなたでも気軽に研修を受講できるよう、オンデマンド研修をご用意しております。視聴の際には URL を発行いたしますので PC スマートフォンからいつでもどこでも受講いただけます。詳細は HP または営業担当までお尋ねください。

商品ラインナップ

管理職・一般社員向け：ハラスメント防止基礎研修
コミュニケーション研修

新人の窓口担当者向け：公益通報対応業務従事者向け研修

詳細は <https://www.dsn.co.jp/elearning/>

